

孫について

小林まもる

どこか

乳臭かったのだが

いつのまにか

チーズのように

しっかりしてきた

五歳の孫

そのまま

詩である

まことに

歌である

孫と言う字は

花に似ている

近くで見れば

こみ入っているのだが

遠視眼で見れば

花にちがいないのだ

私はまちがっていた

孫を見ていれば

それがわかる

虫けらもありがたいし

名もない草花も美しい

無心に近づけば

それがわかる

